

タイトル (活動概要)	24 漢字の仲間を見つけよう	アプローチ (関連する力)		「仲間づくり」⑧	
タイミング (実施時期)	同じ部分をもつ漢字の学習 終了後	活動 場所	教室	所要 時間	20分
対象学年	幼・ 小低 ・小中・小高 中1・中2・中3・高	対象 規模	学級	活動 場面	国語
活動の ねらい	<p><背景>人間関係づくりに課題のある子どもが多い</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的にゲームに参加しようとする 同じ部分をもつ漢字カードを使い、友達と楽しくカードゲームをする 				
準備	同じ部分をもつ漢字で学習したカード(2・3人グループで活動しやすい枚数)				
学習・活動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入					
同じ部分をもつ漢字カードで楽しく神経衰弱ゲームをしましょう					
2 主活動 ○やり方を知る ・同じ部分をもつ漢字カードを机の上に裏返しカードを混ぜる ・ゲームの順番を決める ・めくって同じ部分をもっていたら2枚とることができる ・たくさんカードを取った人の勝ち ○神経衰弱ゲームをする		・グループはできるだけ少人数にし、たくさん参加できるようにする ・このほかにも二人組をつくり、同じ部分の漢字を二つに分け「セーノ」のかけ声で一緒に出し、同じだったらカードをしまい、早くなかったグループが勝ちというやり方やばばぬきのようにしていく方法もある ・工夫次第で楽しく活動できる		漢字カード	
3 ふり返り ・友達と一緒に漢字カードゲームをした感想を話し合う					
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ルールについてみんなが理解できるように事前に練習する等の配慮をする ゲームに楽しく参加する雰囲気を大切にする 学習の苦手な児童にはさりげない支援を行い、できたことを賞賛する 漢字カードは児童自ら作成するよう事前の準備を行う 				